

令和8年3月2日

関係者 各位

独立行政法人国立病院機構
大牟田病院 院長 川崎 雅之

個人情報が保存されたU S Bメモリの紛失について

この度、当院におきまして、患者様及びご家族等の個人情報が保存されたU S Bメモリを病院敷地内で紛失し、一時的に所在が不明となる事態が発生いたしました。

このような事態が発生したことを厳粛に受け止め、患者様をはじめ関係する皆様にご心よりお詫び申し上げます。今後は、より一層、個人情報の管理体制の強化に努め、再発防止に万全を期す所存でございます。

1. 経緯

当院職員が、平成26～29年頃に入院していた患者様63名分及びご家族等32名分の氏名等個人に関する情報を、私物のU S Bメモリに保存しておりました。

令和7年10月29日(水)の勤務が終了した17時30分頃に当院駐車場内にて当該U S Bメモリを紛失し、翌日朝7時頃に別の当院職員が、駐車場に落ちていたU S Bメモリを発見したものです。病院敷地内で発見・回収されており、現時点において当該個人情報の漏えいや不正使用の事実は確認されておりませんので、個人情報が院外に流出した可能性は極めて低いと判断しております。

2. 当該U S Bメモリに保存されていた個人情報

- ・患者様分として合計63名
(内訳) 氏名と生年月日 56名
氏名と病状等 6名(うち、病名の記載があるもの2名)
顔画像 1名
- ・患者様のご家族等分として合計32名
(内訳) 氏名と電話番号32名

3. 患者様及びご家族等への対応

該当する患者様及びご家族等に対しては、当院から事案の経緯についてのご説明とお詫びを申し上げます。

4. 再発防止に向けた今後の取組

全職員に対して、個人情報管理の徹底とU S Bメモリの使用に係る関連規程の遵守について複数回説明を行うとともに、情報セキュリティに関する研修の受講を指示しております。

さらに、3月末までに、院内のP Cで私物U S Bメモリが使用できなくなるよう、システム上の環境設定を講じてまいります。

今後このようなことが生じないよう、職員に対する個人情報の取扱いに関する研修及び個人情報の管理状況に関する確認を定期的実施するなど、再発防止に向けた対策を講じてまいります。

照会先 国立病院機構大牟田病院
事務部長(坂口)、管理課長(森松)
福岡県大牟田市大字橘 1044-1
tel 0944-58-1122